

県内の家電メーカーと流通事業者で組織する県廃家電品適正処理協力協議会から、八日市場市ほか三町環境衛生組合へ12月3日に特定フロン回収機が寄贈されました。

これにより今後環境衛生組合に搬入される家庭用冷蔵庫、エアコン等の特定フロン回収が本格的に実施されます。



## 特定フロン回収に理解と協力を

### 環境衛生組合に回収機寄贈

◎特定フロンは、家庭用冷蔵庫、エアコン等の冷媒として広く使われていますが、人体に無害なためこれらの機器の廃棄については、回収、処理されずに大気中に放出されてきました。

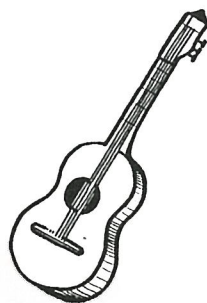
ところが、大気中に放出された特定フロンは成層圏にあるオゾン層（地表20〜40km）を破壊し、太陽光に含まれる紫外線の地表への到達率を増加させるため、皮膚ガン、白内障等が多くなります。



## みんなで楽しんだ コンサート

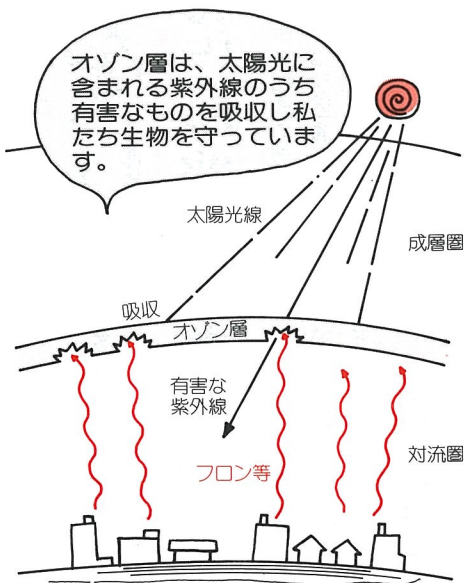
昨年のクリスマスに、東陽病院で入院中の皆さんに音楽を楽しんでもらおうと、クリスマスコンサートが開かれました。第3回目を迎えるコンサートは、薬剤師の石田さんが所属するグループ「セピア」のボランティアによるものです。

午後7時すぎ、ツリーの飾られたホールにはギターやリコーダーの澄んだ音色が響き渡り、次々とクリスマスソングが演奏されました。



この心暖まるコンサートに会場から大きな拍手が送られていました。

東陽病院では、入院中の皆さんの一日も早い病気回復を願い夏には七夕飾りも行っています。



日本では昭和63年に「通称・オゾン層保護法」が施行され、特定フロンの生産

及び輸入は平成7年末で廃止されました。しかし、現に出回っているこれらの機器にはまだ4万4千トンの特定フロンが使用されていて、今後一層の回収、処理を進めなければなりません。

## 若連が玉崎神社の掃除



傍水戸青年館は24年間毎月各戸1名が参加して掃除を続けています。老若男女一緒にの掃除はコミュニケーションの場です。今年も新年のあいさつと共に1月11日に行いました。当日は「道祖神」の掃除も行い、きれいになった石碑の周囲は春には桜の花も咲き道行く人の目を和ませます。

通信員 伊藤久子(傍水戸)



## おいしいアツアツのおもち

町の老人クラブ連合会で12月16日、白磯の養護老人ホーム光栄園でもちつき慰問を行いました。地元婦人会ボランティアの手伝いで持参のもち米60キロをつき上げ、園のお年寄りと一緒にあんころもち、からみ、あべかわ、お雑煮でひと足早いお正月を迎えて交流を深めました。

通信員 山辺光男(木戸)

## 楽しく掃除



毎年新年を迎えるため、区の役員が年末に玉崎神社(橋場)の掃除を行っています。

今回は橋場若連の皆さんが「夏祭りでお世話になった」からと掃除に参加、きれいになった社殿で新年を祝いました。

通信員 萩原岩雄(橋場)